

個々の問題の出題の意図及びその正答率

算数 小学校 第5学年

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			正答率
	大問	小問	通番		考え方	表現・処理	知識・理解	
数と計算	①	1	1	小数×小数の計算をすることができる。		○		85.1
		2	2	小数÷小数の計算をすることができる。		○		74.5
		3	3	分母の等しい分数のたし算の計算をすることができる。		○		85.7
		4	4	分母の等しい分数のひき算の計算をすることができる。		○		94.4
	②	1	5	数のしくみがわかっている。			○	89.3
		2	6	ある数の100倍の大きさの数を求めることができる。		○		84.4
		3	7	ある数の1/100の大きさの数を求めることができる。		○		80.4
	③	1	8	分数を小数で表す方法がわかっている。			○	85.4
		2	9	小数と分数を数直線上に表し、大きさを比較することができる。		○		77.5
	④	1	10	小数の乗法の式を考えることができる。	○			67.8
		2	11	小数の乗法の計算のしかたを考えることができる。	○			72.6
	⑤	1	12	計算のきまりがわかっている。(領域は数量関係)			○	84.9
2		13	計算のきまりをもとにして、工夫した計算の仕方考えることができる。	○			83.3	
量と測定	⑥	1	14	三角形の面積の求め方がわかっている。			○	74.5
		2	15	平行四辺形の面積の求め方がわかっている。			○	95.1
	⑦	図・式	16	図形の面積の求め方を考えることができる。	○			53.5
図形	⑧	1	17	長方形の辺の長さや角の大きさ、対角線のきまりがわかっている。			○	54.7
		2	18	対角線の長さや交わり方からどんな四角形になるかがわかっている。			○	94.6
	⑨	角度	19	平行な直線とほかの直線との交わり方がわかっている。			○	78.1
		直線	20	垂直な直線の意味がわかっている。			○	76.3
	⑩	1	21	計算による三角形の角の大きさの求め方がわかっている。			○	90.1
		2	22	多角形の角の大きさの和の求め方を考えることができる。	○			88.9
数量関係	⑪	1	23	平行四辺形の底辺と面積の関係を式で表すことができる。		○		72.1
		2	24	平行四辺形の底辺を何倍かしたときの、面積の変わり方を考えることができる。	○			69.3
		3	25	数量の関係のきまりを使って考えることができる。	○			76.9